

4 林業の低コスト化の推進～収益性の高い林業・魅力ある林業の確立に向けて～

民有林・国有林を問わず、戦後に植林した人工林が成熟期を迎えています。地球温暖化防止等に資する施業を行うとともに、この成熟した森林資源を循環利用して林業の成長産業化を実現していくことが喫緊の課題となっています。そのためには、林業の低コスト化を推進することが重要であり、近畿中国森林管理局では、①素材生産と造林の一貫作業、②コンテナ苗の使用、③植栽本数の削減、④獣害防護柵設置コストの低減、⑤下刈の省力化の推進、⑥列状間伐の推進、⑦丈夫で効果的な路網整備等に取り組みます。

また、これらの成果について、国有林のフィールドを活用しながら、地域へ普及していきことにも努めていきます。

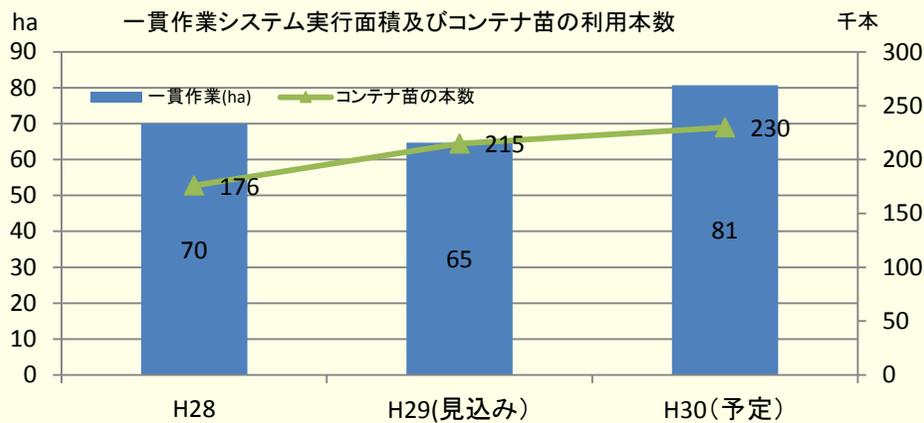


①一貫作業システムによるコスト低減

植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採と連動した植付が可能となり、また、伐採・搬出に使う車両系の運搬機械を苗木や防護柵等資材の運搬に活用することで、造林コストの低減が図られます。

近畿中国森林管理局では、前年度比25%増の81haを一貫作業システムで実施する予定です。

※一貫作業システム：伐採から植栽までを一体的に行う作業



②コンテナ苗の積極的な利用

コンテナ苗とは、容器の内面にリブ(縦筋状の突起)を設け、容器の底面を開けるなどによって、根巻きを防止できる容器(林野庁が開発したマルチキャビティコンテナや宮崎県林業技術センターが開発したMスターコンテナ等)で育成された苗です。

平成30年度は、当年生苗実証試験を実施します。当年生苗とは、育苗期間が1年以内の苗をいい、メリットは以下のとおりです。

- 1 苗木生産コストの削減、苗木生産性の向上
- 2 残苗発生リスクの減少
- 3 コンテナ苗設備投資資金の回収期間を短縮

- ・低コスト造林の普及拡大
- ・苗木生産者の経営の安定

【苗齢9ヶ月のスギコンテナ苗】



③植栽本数の縮減

従来は、植栽本数を3000本/haとするのが一般的でしたが、これを2000本/haにすることで、苗木代、植付経費を削減するとともに、間伐等その後の保育コストの低減も見込めます。近畿中国森林管理局では、平成15年度から2000本/ha植栽を標準としています。今後は、さらなる植栽本数の削減を目指します。

【島根県益田市 明ヶ原国有林】



現地検討会(ヒノキ14年生 2000本/ha)

【広島県福山市 新元重山国有林】



試験地(ヒノキ54年生 2000本/ha)

④シカ防護柵設置のコスト縮減

シカによる食害を防ぐため、新植箇所では植栽木を保護するため防護柵を設置しています。また、設置コストを縮減するため、柵の支柱として周囲の立木を使用することに取り組んでいます。

平成30年度は、ドローンを活用した防護柵の点検方法について現地検討会を開催し、効果的・効率的な防護柵の維持管理に取り組めます。

【防護柵の立木使用】



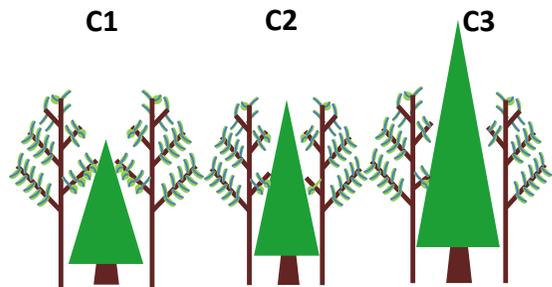
【ドローンによる防護柵点検(四国局)】



⑤下刈省力化の推進

通常、植栽後5年にわたり行う下刈は、保育作業の中で最も労力と経費が必要な作業です。近畿中国森林管理局では、現地の雑草木の繁茂状況を確認しながら、下刈の省略や刈り払い方法の見直しなど、下刈の省力化に向けて取り組めます。

平成30年度は下刈対象面積の48%を省略する予定です。



下草が苗木をどの程度被圧しているかに応じて下刈の実施を決定



【岡山県新見市 三光山国有林】
下刈省略箇所(植栽後2年)
苗木の頂部が下草から抜け出しており、問題ない状態

⑥列状間伐の推進

列状間伐は一定の間隔で直線的に間伐木を選定し伐採する方法です。近畿中国森林管理局では搬出間伐は100%列状間伐で実施しています。

列状間伐のメリット

- ①選木の手間が省ける
- ②伐採・集材が容易である
- ③多くの労働災害の原因となる「かかり木」が発生しにくい
- ④残存木の損傷が少ないなどがあります。

※ かかり木：伐採した木が倒れずに、隣の木などに引っかかってしまうこと

【岡山署 入開山国有林】



⑦効果的な路網整備の推進

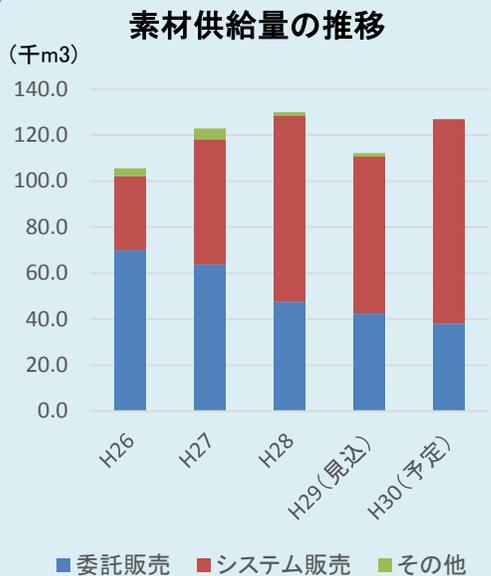
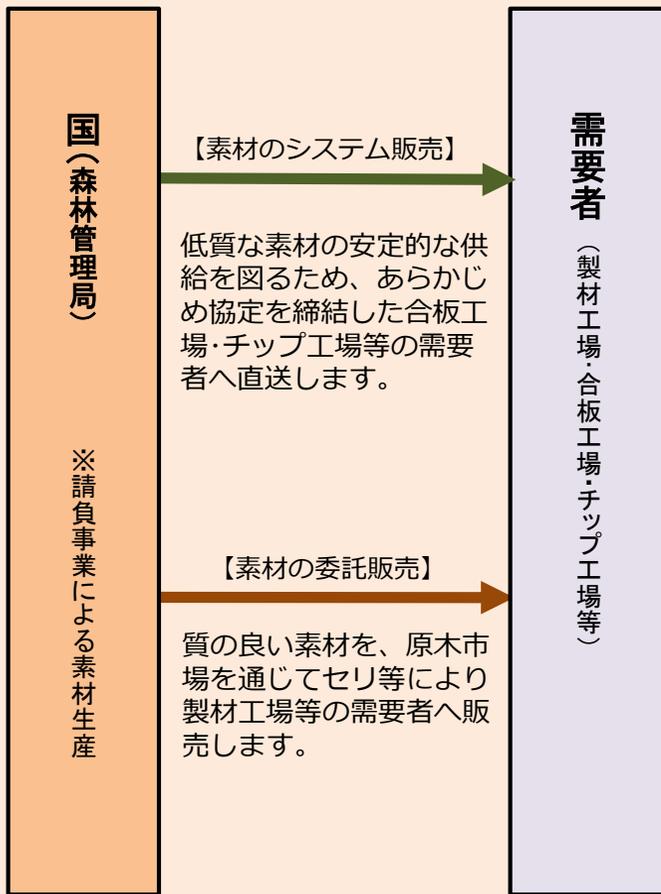
森林整備や木材生産の低コスト化、生産性の向上及び木材の利用を推進するため、地形・地質を考慮し、作業システムにも配慮した、丈夫で簡易な路網の開設を推進し、路網密度の向上を図ります。【下図】

また、施工時期の平準化を図る取組として、奈良森林管理事務所において、複数年契約による林業専用道を開設を実施する予定です。



5 林産物の安定的な供給

国有林野事業では、公益重視の管理経営を推進しつつ、地域における木材安定供給体制の構築等を図るため、木材の持続的かつ計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献できるよう努めています。



【国有林材供給調整検討委員会】
 民有林や木材加工・流通の関係者、有識者等による委員会を年間4回開催し、地域の木材価格や需給の動向に関する情報を持ち寄り、国有林材の供給調整の必要性について検討します。



▲第4回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会【H30.3.15】

【立木のシステム販売】
 複数の立木販売物件をまとめて、事業者と協定を結んで3年間にわたり販売します。物件ごとの事業期間は原則3年あり、長期間にわたって伐採・搬出が可能となるため、素材生産を行う事業者の経営の安定化にも寄与します。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
↑販売契約		伐採・搬出			
			伐採・搬出		
				伐採・搬出	

6 林業事業体（造林・生産）及び森林土木関連事業体（治山・土木）の育成・強化

林業の成長産業化や国土保全の推進を図るためには、林業事業体（造林・生産）及び森林土木関連事業体（治山・土木）の育成・強化が不可欠です。このため経営の安定化に資する複数年契約の推進、生産性向上への取組の支援、事業体との情報・意見交換会の開催等に取り組めます。また、これらの取組を通じて、意欲と能力のある林業経営体を支援するとともに、働き方改革に取り組む事業体の取組促進に寄与します。

複数年にわたる事業発注の推進

「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」（平成18年法律第51号）に基づく市場化テスト（単年度会計制度の例外として試行）の一環として、一定のまとまりのある規模の間伐等の森林整備を、民間事業者の企画提案によって効率的に行うため、複数年（2～3年）にわたる単位で発注します。

また森林土木関連事業の複数年にまたがる事業の発注を推進します。

こうした取組により、事業量の平準化や雇用の安定化に貢献します。



▲複数年にわたる請負契約による林道整備（京都大阪所 醍醐山林業専用道新設工事）

林業事業体による生産性向上の取組の支援

生産事業の作業システムを最適化し、生産性の向上と生産コスト縮減を支援するため、作業日報、月報による工程管理の推進に取り組めます。また、国有林間伐・再造林推進コンクールを通じた優良事例の普及に取り組めます。



▲国有林間伐・再造林推進コンクールにおいて優秀賞を受賞した林業事業体によるロングリーチグラブを用いた木寄せ作業（上）と林野庁長官表彰の伝達（下）

林業事業体及び森林土木関連事業体との情報・意見交換会の開催

林業、森林整備、治山に関連する施策の方向、入札制度（総合評価制度）、労働災害防止対策等に関する情報提供、外部有識者を招へいた林業や森林土木に関する技術セミナー、国と事業体との質疑応答などを内容とした、情報・意見交換会を開催し、発注者、受注者双方の事業実施に関する情報の共有を図ります。



◀林業事業体との意見交換会の開催

（近畿中国森林管理局）



◀生産性向上に関する技術セミナーの開催

（酒井 東京大学
名誉教授、
H30.3.9）

7 技術開発と普及 ～国有林のフィールドを活かした先駆的な技術の開発・導入～

地域における林業の成長産業化を見据えた先駆的な技術の開発や実証試験を行い、民有林への普及を推進します。技術開発や試験の実施にあたっては、大学や研究機関と連携を図りつつ、効果的かつ効率的に進めていきます。

里山広葉樹の有効活用と再生

里山の広葉樹林の多くが放置され、高齢・大径木化しナラ枯れ等の被害が広がる一方、外国産広葉樹の入手が困難となりつつあり、国産広葉樹へのニーズが高まっています。

このため、平成29年度から「里山広葉樹活用・再生プロジェクト」を開始し、民有林を含む里山広葉樹林の活用とバリューチェーンの構築を目指します。

平成30年3月23日には、「里山広葉樹活用シンポジウム」を森林総研関西支所と共催により開催し、川上から川下まで幅広い関係者との情報交換、共有を行いました。



◀里山広葉樹林の伐採後の状況
(岡山県新見市 釜谷国有林)



◀里山広葉樹活用シンポジウムの様子
(近畿中国森林管理局)

ICTを活用した新たな技術の導入

森林資源調査や収穫調査の省力化、低コスト化及び精度の向上に向け、三次元レーザーやドローン (UAV) などのICT機器を活用した森林資源調査の技術開発及びICT機器の導入を前提とした研修による人材育成を図るとともに、民有林へのICT技術の普及に取り組みます。



◀地上型三次元レーザー機器による計測

計測した点群データからの森林解析 (立木位置、胸高直径、立木密度、曲り等) ▶



◀ドローンによる森林被害の状況確認
(福井県内の大雪による被害の調査に試行的に活用)

早生樹植栽試験

主伐・再造林が拡大する中、①輸入材の減少による国産広葉樹へのニーズが高まっていること、②成長が早く、スギ・ヒノキと遜色ない良好な材質であること、③従来の植栽樹種に加え新たな選択肢を広げることに着目して、早生樹 (センダン・コウヨウザン) の植栽試験を行っています。得られた成果の公表やデータの収集など、産学官が連携して取り組んでまいります。

【センダンの苗】



芽かき実施

芽かき未実施

枝下高約4mの通直な樹幹を形成

幹が低い位置で分岐



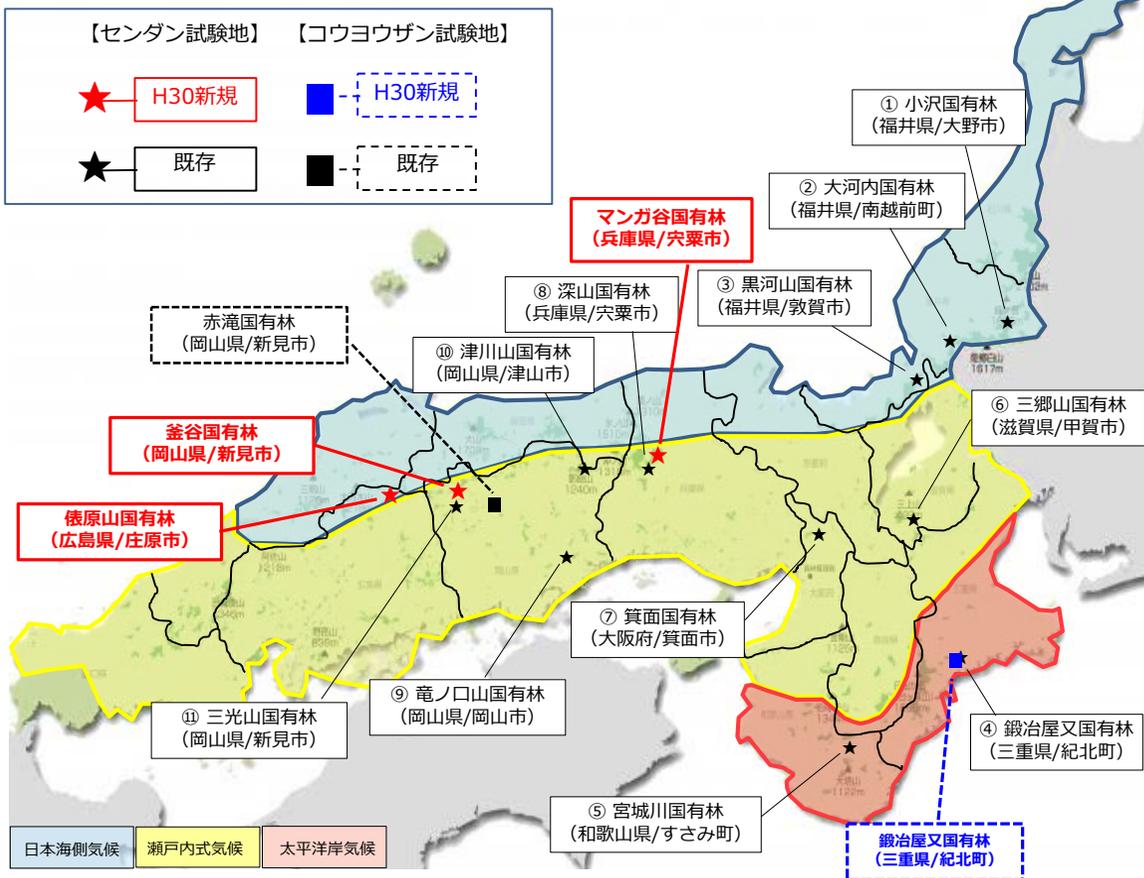
【熊本県芽かき展示林 (樹齢15年生)】



【一般的なセンダンの樹形】

(参考) 早生樹植栽試験の概要

当局では平成27年4月より、森林技術・支援センターの自主課題として、センダンやコウヨウザンの植栽試験を実施しています。平成30年度は、既存試験の検証を続けるとともに、民有林関係者や農地所有者への普及を念頭においた試験地を新たに4箇所設定します。



詳しい試験概要はホームページで公開しています。
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/gijyutukaihatu/kadainotorikumi.html>



既設試験地の検証内容

- センダン (11試験地) > 気候帯の違いによる生育状況の違い
 > 施肥の有無による生育状況の違い
※いずれも10~20本程度の単木的な植栽
- コウヨウザン (1試験地) > 瀬戸内式気候での生育状況
 > 植栽密度や枝打ちの有無による生育状況の違い

新規試験地の検証内容

- センダン (3試験地) > 産地や選抜有無による生育状況の違い
 > まとまった面積(100本程度)への植栽による保育作業の工期・保育等コストの検証
 > 荒廃農地を想定した植栽(土壌適性把握)
 > スギと混植した場合の生育状況
- コウヨウザン (1試験地) > 太平洋岸気候での生育状況
 > 施肥の有無による生育状況の違い
 > スギとの成長量・コスト比較

【旺盛な成長が確認されたセンダン】

福井県敦賀市 黒河山国有林試験地

3成長期(2年5ヶ月)で **42.7cm** の樹高成長を見せた!



【平成27年5月25日 撮影】

樹高：83cm
 根元径：8.3mm



【平成29年10月31日 撮影】

樹高：510cm
 根元径：59.8mm

2 「日本美しい森 お薦め国有林」 ～レクレーションの観光資源としての活用～

林野庁では、平成29年4月28日に、優れた自然景観を有するなど、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森※を「日本美しい森 お薦め国有林」として全国に93箇所を選定しました。近畿中国森林管理局管内では、安宅林風景林（石川署）など20箇所が選ばれており、情報発信・環境整備の取組を進めているところです。

林野庁HPにおいて「日本美しい森 お薦め国有林」の魅力やアクセス等を日本語・英語双方で紹介しています。そのほか局署等のHPにおいても、各地のレクリエーションの森について情報発信を行っています。

近畿中国森林管理局HPアドレス：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/mori_zukuri/recreation/index.html

※優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に設定し、広く国民の皆様提供しています。

「日本美しい森 お薦め国有林」近畿中国森林管理局管内



安宅林風景林
小松市（石川県）

歌舞伎十八番勸進帳の森 安宅の関とクロマツ林



所管：石川森林管理署



近江湖南アルプス自然休養林
大津市、栗東市（滋賀県）

花崗岩の巨岩・奇岩でできたアルプスの
景観と琵琶湖の眺望



所管：滋賀森林管理署



高取山風景林
高取町（奈良県）

日本三大山城「高取城」跡
往時を偲ばせる石垣と城跡から望む奈良盆地



所管：奈良森林管理事務所

「日本美しい森 お薦め国有林」 近畿中国森林管理局管内(20箇所)



所管:山口森林管理事務所
中国地域



所管:奈良森林管理事務所
近畿地域



所管:福井森林管理署
北陸地域



鳥取署



鳥取署



鳥取署



鳥取署



鳥取署



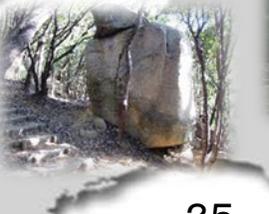
鳥取署



鳥取署



鳥取署



鳥取署



鳥取署



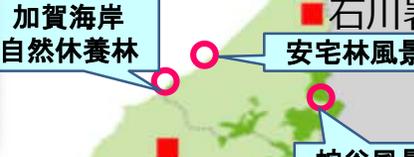
鳥取署



鳥取署



鳥取署



福井署



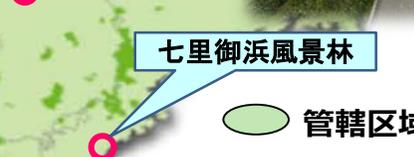
福井署



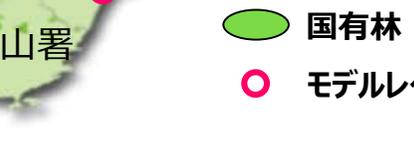
福井署



福井署



福井署



福井署

- 管轄区域
- 国有林
- モデルレク森

「日本美しい森 お薦め国有林」 近畿中国森林管理局管内(20箇所)

「日本美しい森 お薦め国有林 一覧(20箇所)」近畿中国森林管理局管内

名称	署等	所在地	特徴
安宅林風景林	石川	小松市 (石川県)	歌舞伎十八番勸進帳の森 今に語り継がれる義経と弁慶の物語の舞台 安宅の関とクロマツ林
近江湖南アルプス自然休養林	滋賀	大津市、栗東市 (滋賀県)	花崗岩の巨岩・奇岩でできたアルプスの景観と琵琶湖の眺望
東山風景林	京都 大阪所	京都市 (京都府)	日本庭園の借景となる北白川から清水の寺社の裏山
嵐山風景林	京都 大阪所	京都市 (京都府)	平安貴族に愛された名勝嵐山の四季を彩る森林 山・川・橋のハーモニー
高取山風景林	奈良所	高取町 (奈良県)	日本三大山城「高取城」跡 往時を偲ばせる石垣と城跡から望む奈良盆地
扇ノ仙森林スポーツ林	鳥取	八頭町 (鳥取県)	秀峰扇ノ山の麓 家族で楽しもうバードウォッチングと森林浴

このほか

名称	署等	所在地	名称	署等	所在地
加賀海岸自然休養林	石川	加賀市 (石川県)	滝谷・大成山野外スポーツ地域	兵庫	たつの市 (兵庫県)
蛇谷風景林	石川	白山市 (石川県)	大和三山風景林	奈良所	橿原市 (奈良県)
松原風景林	福井	敦賀市 (福井県)	高野山風景林	和歌山	高野町 (和歌山県)
七里御浜風景林	三重	紀宝町、御浜町、熊野市、 (三重県)	操山自然休養林	岡山	岡山市 (岡山県)
明治の森箕面自然休養林	京都 大阪所	箕面市 (大阪府)	恐羅漢細見峡自然休養林	広島	安芸太田町、廿日市市 (広島県)
宝塚自然休養林	兵庫	宝塚市 (兵庫県)	宮島風景林	広島	廿日市市 (広島県)
赤西自然観察教育林	兵庫	宍粟市 (兵庫県)	岩国自然休養林	山口所	岩国市 (山口県)

わたしの美しい森 フォトコンテスト(※)

■近畿中国森林管理局長賞



【作品名】韋駄天 【撮影者】土屋達也
【場所】大阪府箕面市 明治の森箕面

■森林景観部門優秀賞(実行委員賞) 日本森林林業振興会



【作品名】雨の置き土産 【撮影者】中山真幸
【場所】奈良県上北山村 大台ヶ原

※日本各地の森林において撮影された、森林景観の美しさ、生命のすばらしさ、体験による感動など、森の魅力を伝える写真を表彰

Ⅲ 国民の森林としての管理経営

3-1 双方向の情報受発信 ～地域や一般の方との情報受発信～

平成25年に国有林が一般会計化し、民有林への支援や地域林業の振興など、新たな役割を果たしていくことになりました。このため、近畿中国森林管理局では、一般の方や地域からの意見要望を把握し、業務遂行の参考としたり、地域と連携して課題解決に向けた取組を行うため、国有林モニターや管内府県・市町村を対象とした地域林政連絡会議等を開催し、森林・林業に関する地域のニーズの把握に努めています。

【一般の方に向けた情報の受発信】

一般の方から毎年「国有林モニター」を公募し、国有林をはじめとして森林・林業に関する様々な情報をご紹介しますとともに、国有林野事業の管理経営の様々な分野に対するご意見・ご要望をいただいています。

また、「国有林モニター会議」と題し、年2回程度国有林の現場の見学と意見交換会を開催しており、平成29年度は広島県と滋賀県の国有林において、シカ被害対策や治山事業箇所、森林整備箇所の見学等についてご覧いただきました。



【シカ囲いわな見学の様子】



【森林整備箇所見学の様子】



【治山ダム見学の様子】



【意見交換会の様子】

【府県・市町村等に向けた情報の受発信】

近畿中国森林管理局の所管するエリアは14府県と広域にわたることから、地域とのつながりや連携等を図り、それぞれが抱える課題や技術的情報等について情報共有し、協力可能な分野について具体的な取り組みを進めていくため、各署（所）と地元府県等との間で地域林政連絡会議を実施しています。

また、国有林が所在する市町村長との間で連絡協議会を開催し、地域のニーズの把握に努めるほか、国の施策の動向について情報提供したり、地域の林業・木材産業等で貢献可能な分野について、積極的に協力するよう努めています。



【地域林政連絡会議の様子】



【管内国有林野等所在市町村長
連絡協議会の様子】

3-2 双方向の情報受発信 ～各種イベントを通じた国民への森林に対する理解の醸成～

広く一般の方に森林の恵みや木に触れることを体験いただく各種森林ふれあいイベントの開催を通じて、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深めていただき、豊かな森林資源を次世代に引き継いで行くことを目指します。

水都おおさか森林の市の開催

平成30年度は、10月28日（日）を開催日とし、木のおもちゃの体験やシイタケ、シカ肉の試食体験など、子供も大人も楽しめるイベントを開催します。



(平成28年度開催の様子)

※平成29年度は台風接近によりイベント中止

詳しいイベント情報は、ホームページで公開しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>



森林ふれあいイベントの開催

地方公共団体、教育機関等の要請や地域ニーズを踏まえて、森林とふれあえるイベントを実施してまいります。



地元小学校へ出張教室
(伊賀市教育委員会との連携共催)
(三重県伊賀市)



地元クリスマスイベントへ出張森林教室
(大阪市、近畿中国森林管理局近隣)

第3回山の日記念全国大会 (鳥取県開催)

山の日記念全国大会が、8月10日（金）～11日（祝）の両日、鳥取県にて開催されます。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という目的のもと、近畿中国森林管理局においても、山にまつわる様々なイベントを開催し、本大会を盛り上げてまいります。

「山の日」PRイベント
(環境省近畿地方環境事務所共催)



山を楽しむ子ども向けワークショップ
(協力：大阪教育大学)
(近畿中国森林管理局)



山トークイベント「森林官×自然保護官」
(近畿中国森林管理局)

4 伝統文化の継承への貢献

京都・奈良等の世界文化遺産に隣接する国有林において、地元自治体や一般市民、民間企業等とともに景観に配慮した森林づくりを進めます。また、社寺等の歴史的木造建造物の修復用資材を供給するための「古事の森」や「檜皮採取林」の設定等により、日本の伝統と文化の継承に貢献します。

世界文化遺産貢献の森林等における取組

世界文化遺産に登録されている社寺の重要な背景を構成しているなどの管内の国有林約4,800haを森林の重要性や森林と文化財の関わり等を普及する象徴的・総合的な拠点として「世界文化遺産貢献の森林」に設定しています。



【嵐山国有林の桜と渡月橋】(京都市)

このほか、山口森林管理事務所では、世界遺産の緩衝地帯に設定された大葉山国有林について、地元自治体である萩市と施業方法について意見交換会を行うなど、連携して景観保全の検討に取り組んでいます。



【大板山たたら製鉄遺跡と大葉山国有林】(山口県萩市)

【萩市との意見交換会の様子】(山口県萩市 大板山たたら館)



社寺等歴史的木造建造物の修復用資材の供給

【古事の森を通じた森林文化のPR】

神社仏閣等の歴史的木造建造物の修復に必要な大径・長大な木材を生産するための森づくりを行う「古事の森」を4箇所(5.14ha)設定しています。

- ①京都古事の森 (鞍馬山国有林 1.99ha 京都府京都市)
- ②春日奥山古事の森 (地獄谷国有林 0.48ha 奈良県奈良市)
- ③斑鳩の里法隆寺古事の森 (野山国有林1.16ha 奈良県斑鳩町)
- ④高野山古事の森 (高野山国有林 1.51ha 和歌山県高野町)

奈良森林管理事務所では、春日奥山古事の森育成協議会と連携してシンポジウムを行うなど「春日奥山古事の森」の普及・啓発に取り組んでいます。



【興福寺中金堂復元現場見学の様子】

【檜皮採取林における取組】

檜皮(ひわだ、ヒノキの樹皮)は社寺の屋根材として利用されています。しかし近年は、檜皮の採取が可能となるヒノキの大径木が減少するとともに、檜皮を採取する原皮師(もとかわし)が少なくなっており、檜皮の確保が難しくなりつつあります。このため管内の樹齢80年以上のヒノキ林のうち約300haを「檜皮採取林」に設定し、檜皮の採取と原皮師の養成の場として提供しています。



【採取した檜皮】



【檜皮の採取】京都市

5 大学、試験研究機関との連携の強化

近畿中国森林管理局は、森林総合研究所関西支所、京都府立大学、京都大学とそれぞれ「連携と協力に関する協定」を締結しています。これらの協定を締結したことによって、各機関が有する森林・林業・木材産業に関する専門的かつ高度な知識・技術と、近畿中国森林管理局が有するフィールド、資源、組織力を相互に活用して、地域からの森林経営や林業に関するニーズや課題に効果的、効率的に対応していくことが可能となっています。

森林総合研究所関西支所 協定締結 H25.8.1

共同での低コスト造林に関する技術開発や民有林関係者を対象とした現地検討会の開催など、技術開発とその普及に関する連携を進めています。
平成29年度は、京都大阪森林管理事務所管内の大悲山国有林（京都市左京区）にある「花脊(はなせ)の三本スギ」が森林総合研究所関西支所による樹高の精密な測定の結果、日本一の高さ（62.3m）であることが判明しました。
引き続き、技術開発とその普及に、連携協力して取り組んでまいります。



花脊の三本スギ樹高測定見学会
(京都市) 【H29.11.28】

京都府立大学 協定締結 H25.11.26

早生樹であるセンダンの植栽試験を中心として連携協力を進めています。森林・林業に関する人材育成等も含め、引き続き、連携協力してまいります。

【センダンの成長量調査・土壌調査結果】 (京都府立大学による分析)

現時点で、降水量が多い、気温が高い、土壌が軟らかい、透水性が高い場所が、植栽に向いていることが確認された。

樹高	根元径	材積
降水量 ▲	降水量 ▲	降水量 ▲
平均気温 ▲	土壌硬度 ▼	礫率 ▲
液相率 ▲	細土率 ▼	土壌硬度 ▼
土壌硬度 ▼	凡例： ▲ 成長にプラス ▼ 成長にマイナス	

注) ①液相率：生土重量（採取した土壌の重量）－乾土重量
 ②細土率：直径2ミリメートル未満の粒子からなる土壌。すなわち、礫(れき)を含まない土。砂や粘土からなる土壌の含有率
 ③礫（2mm～75mmの土壌粒子）率：直径2ミリメートル以上75ミリメートル未満の粒子の含有率

京都大学 協定締結 H28.4.1

共同での檜皮採取試験の実施や国有林のフィールドを活用した農学部森林科学科の現地実習実施などの連携協力を行っています。
平成29年度は、留学生のインターンシップでの受入れを実施しました。引き続き、各分野での連携協力を進めてまいります。



高台寺山国有林（京都市）での野外授業
【平成29年10月】



留学生をインターンとして受け入れ【H29.8.28～9.8】
【森林技術・支援センター】

(参考) 平成30年度 主要事業量

区分		単位	H29年度計画	H30年度計画
収穫量	主伐	千m ³	4 8 3	6 1 2
	間伐	千m ³	6 9 8	6 4 8
販売量	立木販売	千m ³	2 8 0	3 5 0
	製品販売	千m ³	1 2 7	1 2 7
造林	更新	ha	1 2 4	1 8 0
	保育	ha	2, 5 8 5	1, 8 1 4
林道新設		km	1 1. 4	5. 8
治山	国有林野内直轄	億円	2 7	3 0
	民有林直轄	億円	2 0	2 4

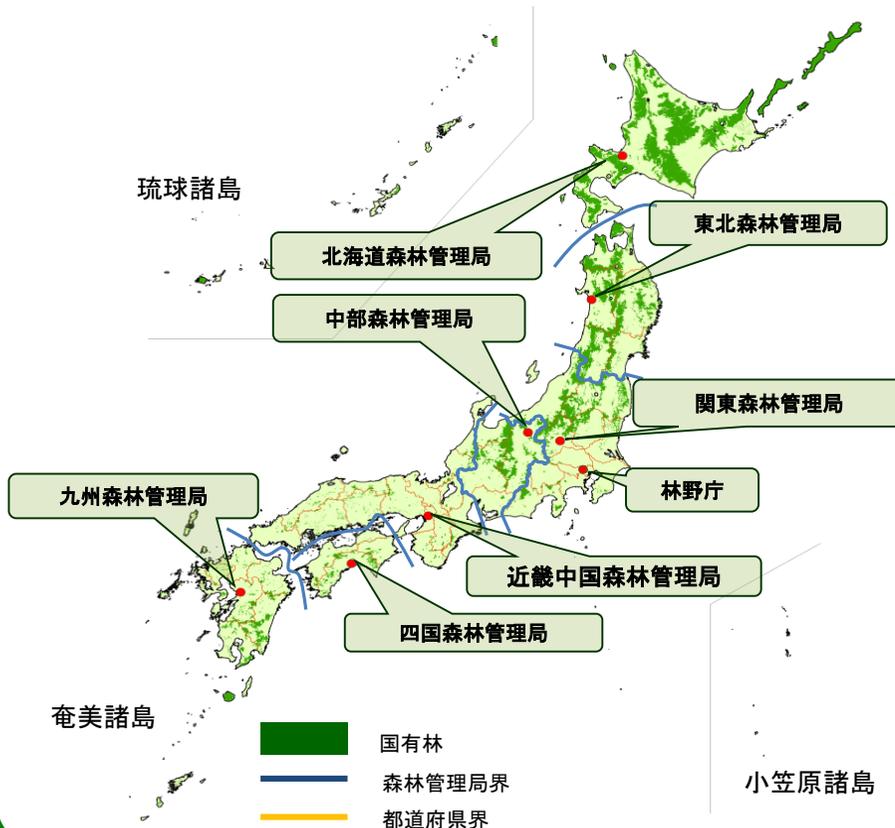
※治山は補正予算を含む。

〔参考〕 国有林の概要①

- 我が国の国土面積の約7割は森林であり、国有林はその3割（国土面積の2割）を占めています。また、国有林は国（林野庁）が一元的にその管理経営を行っています。
- 国有林は奥地の急峻な山脈や水源地域に広く分布しており、国土保全、水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化の防止などの重要な公益的機能を発揮し、安全・安心な環境の形成に貢献しています。
- また、国有林には原生的な天然林が広く分布しており、野生生物の生育・生息地としても重要な存在です。

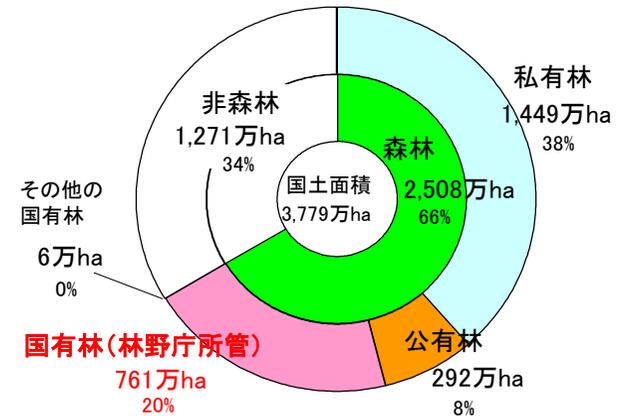
国有林の分布と組織

全国7森林管理局、98森林管理署等を設置



森林面積と国有林面積

(平成24年3月31日現在)



世界遺産登録地域

○世界自然遺産

(陸域面積の約95%が国有林)



〔参考〕 国有林の概要②

公益重視の管理経営の一層の推進を図るため、国有林野を「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」、「水源涵養タイプ」の5タイプに区分し管理経営を行っています。

山地災害防止タイプ



山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とし、地質、地形や森林現況等を踏まえ、適切な間伐等を推進します。

森林空間利用タイプ



保健・文化・レクリエーション機能の発揮を第一とし、景観や野外レクリエーション利用等を考慮して多様な森林の維持・造成に努めます。

自然維持タイプ



希少な生物の生育・生息する森林など、属地的な生物多様性の保全機能の発揮を第一とし、原則として自然の推移に委ねた管理経営を行います。

かん 水源涵養タイプ



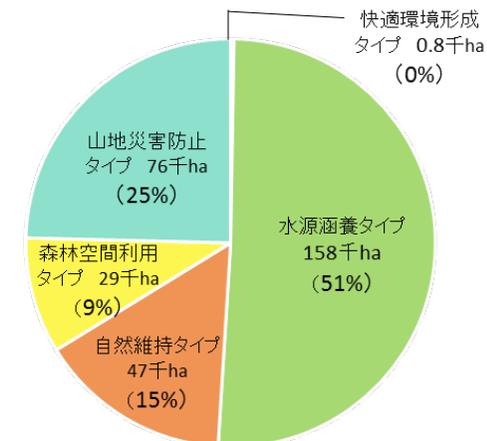
良質な水の安定供給を確保する観点から、人工林における適切な間伐や針広混交林への誘導、長伐期化等を推進します。水源涵養機能は全ての国有林野において発揮が期待される基礎的な機能です。

快適環境形成タイプ



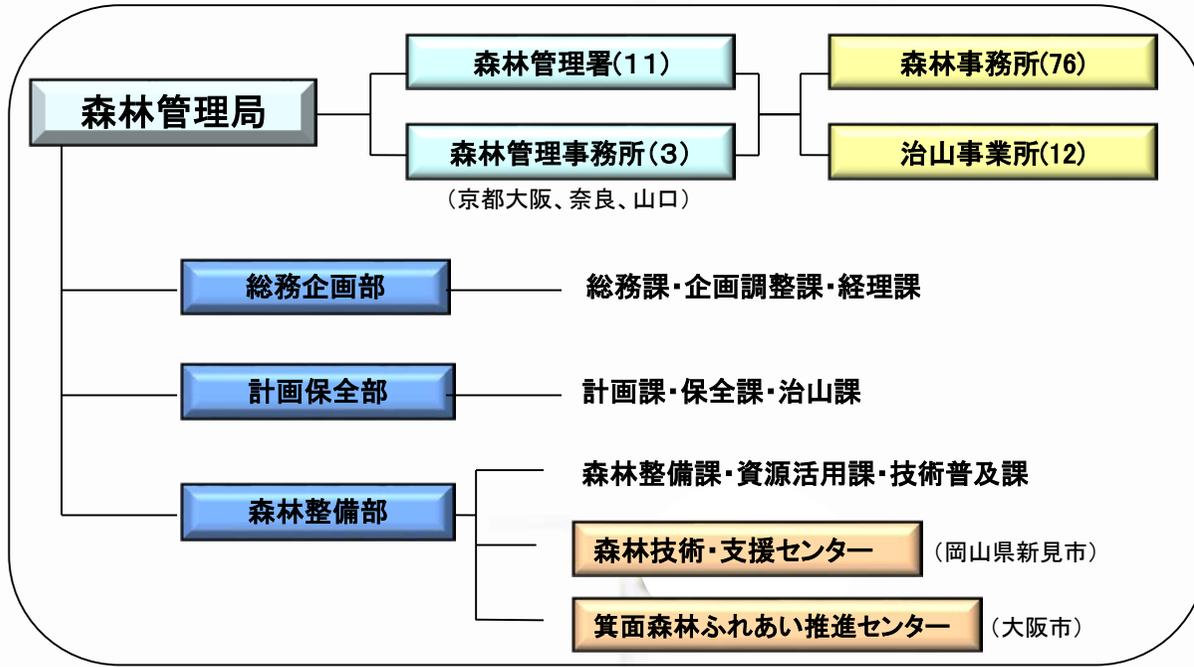
騒音や粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する快適環境形成機能の発揮を第一とし、保全対象との位置関係、森林の現況等を踏まえた施業管理を行います。

近畿中国森林管理局の機能類型別面積



注：面積は平成30年3月31日現在の数値

〔参考〕 近畿中国森林管理局の管轄範囲と組織



2府12県
(31万ha)の
国有林を
管理経営



〔参考〕 近畿中国森林管理局の特色 ①



多様な自然条件、地質地形条件等の森林

- ・豪雪地帯の白山山麓
- ・多雨地域の尾鷲 etc.



国有林のみならず、民有林でも大規模な直轄治山事業を実施



歴史文化と繋がりが深い森林

- ・京都東山、嵐山 ・高野山
 - ・大和三山 ・高取城址
 - ・安芸の宮島 ・錦帯橋
- etc.



様々な目的に対応した森林

- ・保健休養を目的とした都市近郊林
- ・木材生産を目的とした人工林 etc..



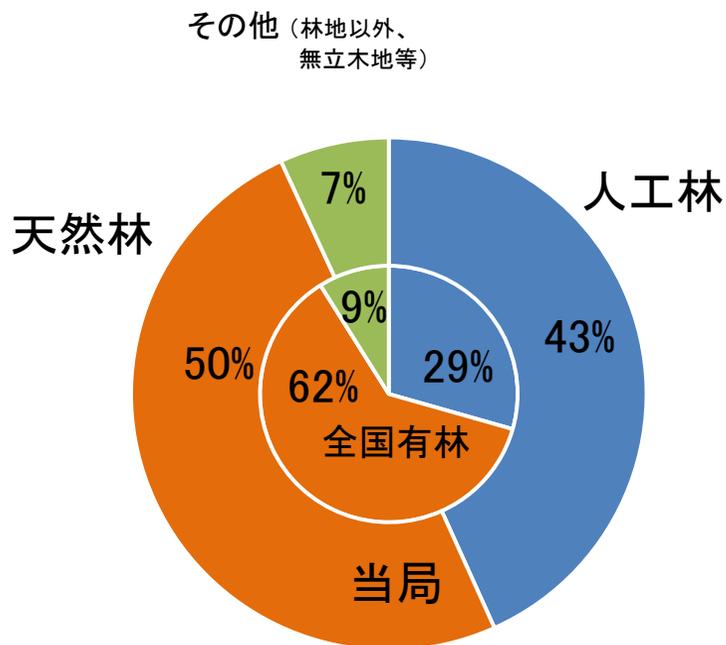
都市近郊林の特徴を活かした取組

- ・森林環境教育の実践
- ・森林セラピー体験 etc.

〔参考〕 近畿中国森林管理局の特色 ②

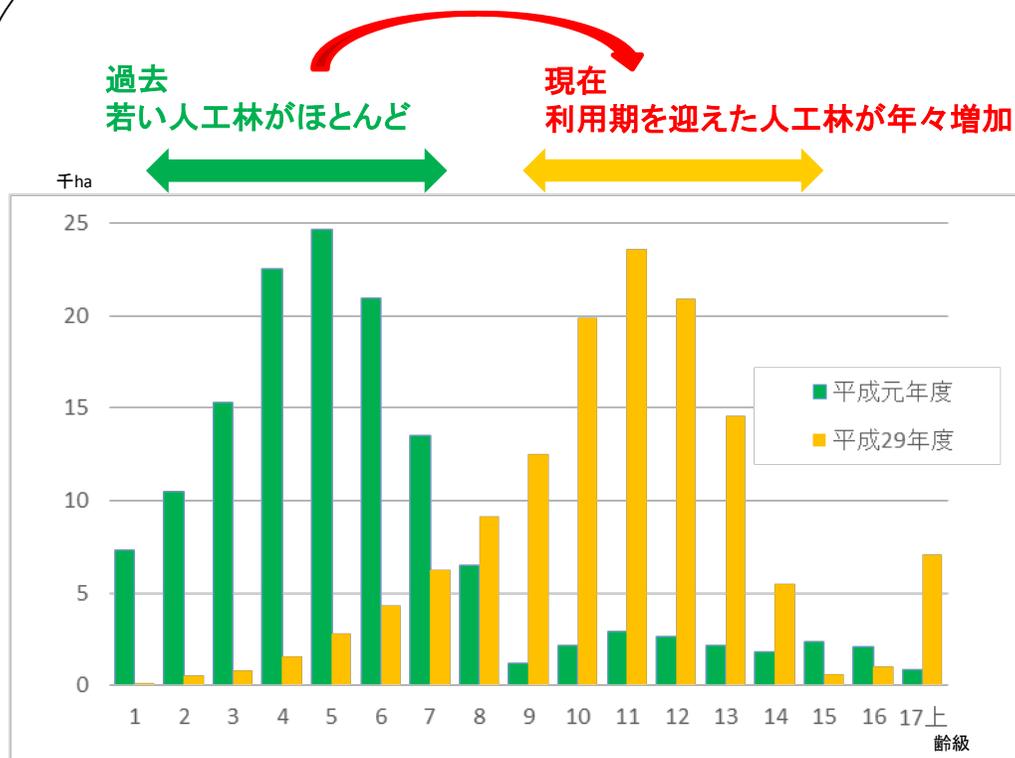
- 近畿中国森林管理局管内の森林は人工林の割合が高く、利用可能な資源が充実しつつあります。

○人工林の占める割合が多い



(森林・林業統計要覧2017より)

人工林の齢級構成



注：齢級とは、森林の林齢を5年の幅でくくった単位。人工林は苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生を「1齢級」、6～10年生を「2齢級」と数える。

【お問い合わせ先】

近畿中国森林管理局総務企画部 企画調整課
(担当: 福長、高橋)

住所 : 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8-75

電話 : 06-6881-3403

Fax : 06-6881-3415

Mail : kc_kikaku@maff.go.jp